

復習問題. 多様体 M の座標近傍系 $\{(U_i, \varphi_i)\}_{i \in I}$ をとり、 $V_i = \varphi_{U_i}$, $V_{ij} = \varphi_j(U_i \cap U_j)$, $g_{ij} = \varphi_i \circ (\varphi_j|_{U_i \cap U_j})^{-1} : V_{ij} \rightarrow V_{ji}$ とする。直和 $\bigsqcup_{i \in I} (V_i \times \mathbf{R}^n)$ 上の、関係 \sim を

$$V_{ji} \times \mathbf{R}^n \ni (x_i, v_i) \sim (x_j, v_j) \in V_{ij} \times \mathbf{R}^n \iff x_i = g_{ij}(x_j), v_i = (Dg_{ij})_{(x)} v_j$$

と定義する。

- (1) 写像 $G_{ij} : V_{ji} \times \mathbf{R}^n \rightarrow V_{ij} \times \mathbf{R}^n$ を $G_{ij}(x_j, v_j) = (g_{ij}(x_j), (Dg_{ij})_{(x_j)} v_j)$ で定義すると、これは微分同相写像であり、 $G_{ii} = \text{id}_{V_i \times \mathbf{R}^n}$ とすると、 $(g_{jk}^{-1}(V_{ij}) \cap V_{jk}) \times \mathbf{R}^n$ 上で、 $G_{ij} \circ G_{jk} = G_{ik}$ を満たすことを示せ。
- (2) $\bigsqcup_{i \in I} (V_i \times \mathbf{R}^n)$ 上の関係 \sim は同値関係であり、 $TM = \bigsqcup_{i \in I} (V_i \times \mathbf{R}^n) / \sim$ は $2n$ 次元多様体となることを示せ。
- (3) M がユークリッド空間 \mathbf{R}^N 内の多様体であるとき、 $\{(\mathbf{x}, \mathbf{y}) \in \mathbf{R}^N \times \mathbf{R}^N \mid \mathbf{x} \in M, \mathbf{y} \in T_{\mathbf{x}}M\}$ はユークリッド空間 $\mathbf{R}^N \times \mathbf{R}^N$ 中の多様体となることを示せ。
- (4) $\{(\mathbf{x}, \mathbf{y}) \in \mathbf{R}^N \times \mathbf{R}^N \mid \mathbf{x} \in M, \mathbf{y} \in T_{\mathbf{x}}M\}$ は TM と微分同相であることを示せ。

演習問題 1. $(a, b, c) \in \mathbf{R}^3$ は $(0, 0, 0)$ ではないとする。 \mathbf{R}^2 上の関数

$$f(x, y) = (2 + \cos y)(a \cos x + b \sin x) + c \sin y$$

は、 $\mathbf{R}^2 / (2\pi\mathbf{Z})^2$ 上の関数 $F : \mathbf{R}^2 / (2\pi\mathbf{Z})^2 \rightarrow \mathbf{R}$ を定義する。 F の臨界点の個数が有限個であるための条件を述べよ。また、臨界点におけるヘッセ行列が退化するかどうか調べよ。

演習問題 2. M をユークリッド空間 \mathbf{R}^N に埋め込まれた p 次元コンパクト多様体とする。

- (1) 次で定義される $X = \nu M$ は N 次元 C^∞ 多様体であることを示せ。

$$X = \{(\mathbf{x}, \mathbf{y}) \in \mathbf{R}^{2N} \mid \mathbf{x} \in M, \mathbf{y} \perp T_{\mathbf{x}}M\}$$

- (2) $(\mathbf{x}, \mathbf{y}) \mapsto \mathbf{x} + \mathbf{y}$ で定義される写像 $e : X \rightarrow \mathbf{R}^N$ は $X \cap (\mathbf{R}^N \times \{0\})$ の近傍では微分同相写像になっていることを示せ。
- (3) $i : M \rightarrow \mathbf{R}^N$ を包含写像、 $\text{pr}_2 : \mathbf{R}^N \times \mathbf{R}^N \rightarrow \mathbf{R}^N$ を第 2 成分への射影、 $\mathbf{a} \in \mathbf{R}^N$ に対し、 $L : \mathbf{R}^N \rightarrow \mathbf{R}$ を線形形式 $L(\mathbf{x}) = \mathbf{a} \bullet \mathbf{x}$ とする。このとき、次を示せ。

- $\mathbf{a} \in \mathbf{R}^N$ が $\text{pr}_2|_X : X \rightarrow \mathbf{R}^N$ の正則点であることと $L \circ i : M \rightarrow \mathbf{R}$ がモース関数であることは同値である。